

<平成記念公園>

【沿革】

- 平成 15 年 4 月 16 日に開園。
- 昭和 30 年代前半までの里山の景観を再現する「日本昭和村」をコンセプトとして整備。
- 園内に約 76ha の未供用地がある。

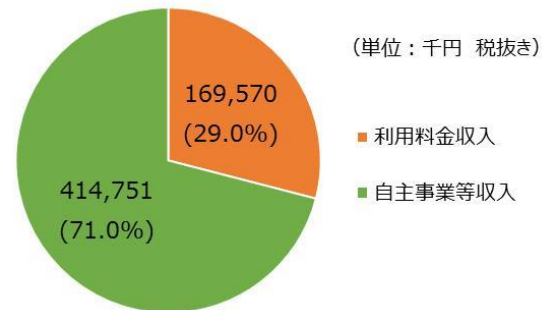
【施設特性】

- 面積 83.9ha
- 開園時間 有料施設のみ 9:00~18:00
 銭湯「里山の湯」は、10:00~22:00
- 駐車台数 約 3,000 台

【指定管理者の現状】

- 平成 25 年度～平成 29 年度の 5 年間、指定管理者は「昭和村 MC グループ」（構成員：（株）岐阜グランドホテル、（株）名鉄インプレス、（株）名鉄レストラン、名鉄環境造園（株）、中央コンサルタンツ（株））。
- 指定管理者は利用料金収入等にて管理運営し、県から指定管理料は支出してない。

平成 27 年度の指定管理者の収入実績の内訳



(単位：千円 税抜き)

(収支差 3,766 千円)

【地域連携】

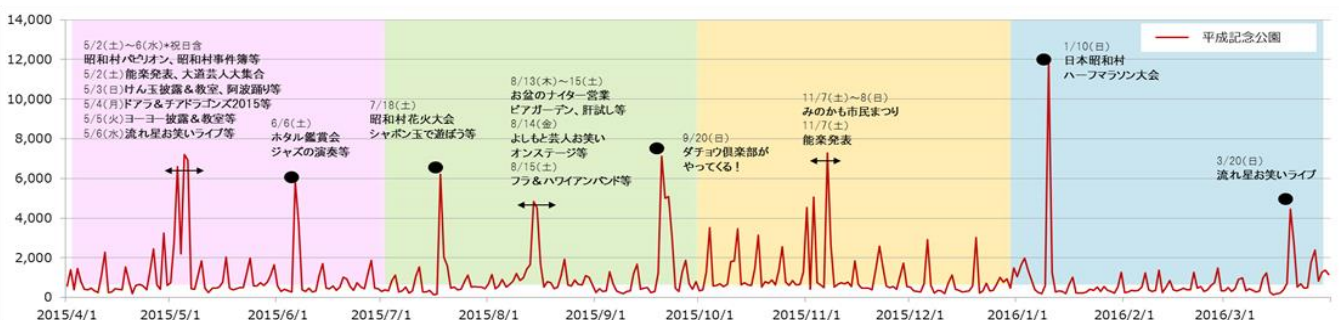
- 美濃加茂市は「里山千年基本計画」（平成 27 年 8 月策定）において、未利用地を含む区域を里山活動の場として位置づけている。
- 売店や道の駅で地元の特産物を取扱うなど、地域の特産物の PR の場となる。
- 美濃加茂市や商工会議所と連携して「みのかも市民まつり」やグルメイベント「ちいき絆ねっと食の陣」を開催、「みのかもハーフマラソン」は 6,000 人規模の大会で平成記念公園が発着地となっている。

【入園者数等の動向】

- 入園者数は季節性的変動は少なく、イベントの開催日に、入園者が多くなっている。

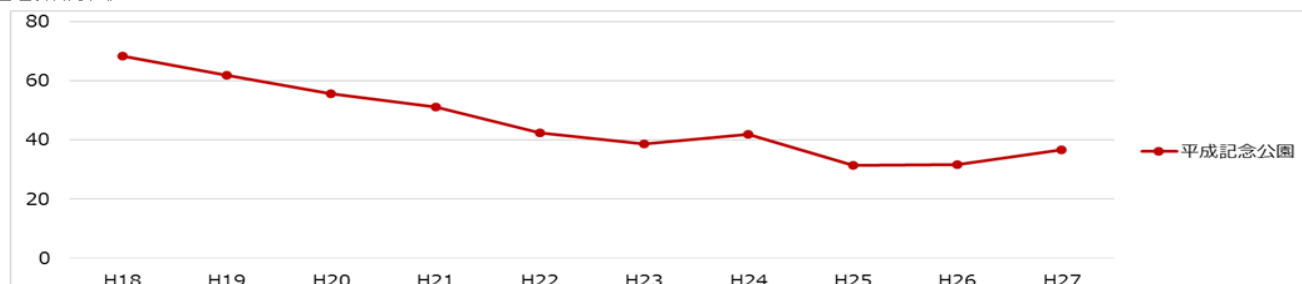
【日別入園者数推移】（平成 27 年度）

入園者数(人)



【年別入園者数推移】（平成 18～27 年度）

入園者数(万人)



【公園の主なイベント・プログラム】（平成 27 年度）

- 春のわくわく昭和村、昭和村パビリオン、昭和村クイズラリー、ホテル鑑賞会、ヒツジの毛刈り、昭和村花火大会、昭和村妖怪の陣、肝試し、昭和村の秋まつり、稲わらアート、みのかも市民まつり、みのかもハーフマラソン大会、昭和村の花まつり、お笑いライブ、アルパカのお散歩 等
- 田植え、季節の野菜の収穫、寄せ植え、桜の植樹、パン・バター等、機織り、染め色、万華鏡、陶芸教室、ソバうち体験、飯ごう炊さん、風車、お手玉、オルゴール教室、藤クラフト教室、羊毛フェルト講座、アロマクラフト 等

【アンケート結果】（平成 26 年度）

【居住地】 岐阜県が 40.0%、愛知県が 50.0%

【年代】 30代、40代が最も多く、それぞれ約 23%を占める。

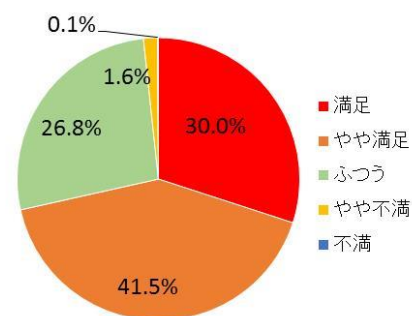
【性別】 女性が約 59%を占める。

【利用形態】 家族 (69.0%)、カップル (11.9%)、友人・知人 (7.3%)、団体 (6.1%)、一人 (3.2%)

【来園頻度】 初めて (53.4%)、数年に 1 回 (40.4%)、月に 1 回～数回 (6.2%)

【滞在時間】 1 時間未満 (4.0%)、1～2 時間 (21.6%)、2～3 時間 (37.0%)、3～4 時間 (24.1%)、4～5 時間以上 (10.5%)

【満足度】 満足 (30.0%)、やや満足 (41.5%)、ふつう (26.8%)、やや不満 (1.6%)、不満 (0.1%)



満足度グラフ

<平成記念公園の強み、弱み、機会、脅威>

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none"> ・ハイウェイオアシスとして整備され、美濃加茂サービスエリアからも直接入園することが可能であり、自家用車等によるアクセスが非常に良い。 ・駐車台数は約 3,000 台と、基本戦略の対象となる 4 公園の中で最大。 ・里山を活かした公園整備が行われている。 ・遊具や子ども向けのプログラムが充実しており、家族連れでの来園が多い。 ・園内には約 40 棟の建物があり、様々な体験プログラムが提供されている。 ・入園ゲートの外に、銭湯や青空市場という特徴的な施設を有している。 ・園内には牧場もあり、動物の触れあい体験ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園料が有料であり、さらに園内の体験施設がほぼ有料となっており、特に家族連れの利用者にとって割高感が強い。 ・再訪したいと思わせる魅力が乏しいため、リピーター率が低い。 ・園内にある能楽堂、茶室等の施設を活用しきれていない。 ・入場口から登坂路となるため、全体を見渡せず、回遊性を持つ動線となりにくい構造である。 ・公園区域に隣接した北部に、未供用地(約 76ha)がある。 ・公共交通によるアクセスが弱い。 ・高速道路からの進入路が分かりにくい。
機会	脅威
<ul style="list-style-type: none"> ・東海環状自動車道の全線開通による関西圏からのアクセス性の向上。 ・未供用地における間伐や下草刈り等の里山整備活動の展開可能性。 ・新東名高速道路の豊田東 JCT～浜松いなさ JCT 間の開通による静岡方面からのアクセス性の向上。 ・東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うインバウンドの拡大機会の到来。 ・リニア中央新幹線開業による交流人口増。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少（少子高齢化）の進行。 ・公園施設の老朽化の進行による陳腐化。 ・類似施設との競合。 ・「昭和」というコンセプトに郷愁を感じる世代の減少。